

日本臨床栄養学会

「栄養学的問題を有する入院患者に対する栄養管理および予後に関する調査」

調査票(この1枚目は施設のみで保管)

患者情報(基本項目)

項目	記載事項	項目	記載事項
病院名		合併症1	
入院科		合併症2	
患者氏名	カルテ番号: イニシャル	合併症3	
登録番号			
生年月日、性別	西暦 年 月 日、男 女	身長	cm
主病名		体重、	Kg
		BMI	kg/ m2
入院目的			

【調査票記入の補足説明】

調査票の記入は入院時、入院6週後、入院12週後とします。

*1 行動能力: 下記から選択し、番号を記載ください。

1:寝たきり、2:立ち上がり可 3:室内歩行可 4:廊下歩行つかまり歩き可 5:階段可 6:歩行可(<2000歩/日) 7:不自由なし(2000歩/日以上)

*2 食欲: 下記から選択し、番号を記載ください。

1: 食欲が全くない 2: 食欲がない 3: 2と4の間 4: 食欲はある

*3 食形態・ルート: 下記から選択し、番号を記載ください。併用ルートの場合は2項目の番号を記入してください。

1:経口 2:経腸 3:末梢静脈 4:中心静脈

*4 エネルギー・たんぱく質の算出は七訂成分表を用いてください。

*5 栄養診断に基づく食事箋内容: 下記から選択し、番号を記載ください。(エネルギー・たんぱく質は標準体重1kgあたりとする)

1: 通常食(>25—kcal/kg/日以上) 2: エネルギー制限食(25kcal/kg以下) 3: 蛋白質制限食(1.0g/kg以下) 4: 高蛋白食(1.2-1.4g/kg) 5: 低糖質食(45-50%)、6: 脂質制限食(30%>) 7: 軟菜食(流動・3・5・7分粥食) 8: 嚥下困難食 9: 抗癌剤治療対応食 10: サプリメントの補給(ビタミン欠乏症等) 11: 個人対応食(低栄養対応食など)

*6 体組成: 体組成の測定可能な施設は、体脂肪量と骨格筋量を記入してください(必須項目ではありません)。

*7 処方している薬の種類と考えてください。同じ薬を1日3錠飲んでいても処方数は1です。合剤の場合は2としてください。

*8 退院先は自宅、病院(転院)、介護施設のいずれかとしてください。

*9 再入院の理由は①予定再入院(抗がん剤プロトコール投与、2期手術など)②予期せぬ入院(第1回入院と関係のないもの・がんの手術をして退院後にテニスで転倒して骨折など)③予期せぬ入院(第1回入院に関連するもの・がんの手術後に肺炎またはもともとの合併症の増悪など。迷った場合はこちら)

施設名

研究登録番号

項目	単位	入院時	入院 6 週後	入院 12 週後
<身体状況>				
体重	kg			
BMI				
行動能力 (*1)	1-7			
食欲の程度 (*2)	1-4			
収縮期血圧	mmHg			
拡張期血圧	mmHg			
<栄養ルート、摂取量>				
食形態・ルート (*3)	1-4			
目標エネルギー	kcal/日			
目標たんぱく質量	g/日			
総摂取エネルギー	kcal/日			
総摂取たんぱく質量	g/日			
栄養処方 (*5)				
<体組成> (*6)				
体脂肪量 (Fat %)	%			
骨格筋量 (LBM)	kg			
<生化学検査>				
HGB	g/dL			
ChE	U/l			
ALB	g/dL			
CRP	Mg/dl			
Cr	mg/dL			
HbA1c	%			
総コレステロール	mg/dl			

項目	単位	入院時	入院 6 週後	入院 12 週後
<薬剤>				
経口薬総処方数(*7)	種			
糖尿病経口薬処方数	種			
経口降圧薬処方数	種			
経口脂質異常症薬処方数	種			
経口睡眠薬処方数	種			
経口ビタミン薬処方数	種			
緩下剤処方数	種			
<転帰>				
退院先(*8)				
死亡の場合その理由				
再入院の場合その理由(*9)				
<栄養士活動>				
この患者に接した時間	分/週			
この患者さんに接した日数	日/週			
病棟に滞在した時間	分/週			
病棟を訪問した日数	日/週			